



倉敷木材株式会社  
第70期  
環境活動レポート

---

2010年7月26日～2011年7月25日

公表：2011年9月2日  
改訂：2012年5月2日

## 第70期 (2010年7月26日～2011年7月25日) 環境活動レポート

①組織の概要	3
②対象範囲	3
③環境経営理念・環境活動方針・トップメッセージ	4
④環境目標及び実績(事業所/建設現場)	5
⑤70期環境活動計画(事業所/建設現場)	6
⑥70期環境目標の評価及び今後の方針(事業所/建設現場)	7
⑦70期環境活動計画の取組結果とその評価、 次年度の取組内容	8
⑧(参考)71期環境活動計画(事業所/建設現場)	9
⑨環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	10
⑩代表者による全体評価と見直しの結果	11
⑪連絡先	12
⑫参考資料(活動紹介)	12

## 《 組織の概要 》

### 『く・ら・し・の・樹』

倉敷木材株式会社(クラモク)は、明治40年の創業以来、一貫して「木」を商材として扱ってきました。始めは国産材の良材供給より出発し、木造住宅の建築はもとより、住宅設備やアルミサッシ・木工家具等、様々な住まいの関連商品を扱い、「暮らしの相談センター」として活動してきました。それはあたかも「暮らしの樹」という苗木が、時を経て根を張り、幹を太らせ、更に枝葉を広げたように思われます。これからもクラモクは、地域の人々に「心豊かな温かい暮らし」を提案し続ける事を願い、堂々とした大樹に育つ事を目指して行きます。

事業の概要: 木材・建材の販売、住宅建築、木の家具の製作・販売

事業所名: 倉敷木材株式会社

英文社名: Kurashiki Lumber Corporation

本社所在地: 〒710-8581 岡山県倉敷市中島1000番地1号

岡山ショールーム所在地 〒700-0977 岡山県岡山市北区問屋町21-103

代表者名: 代表取締役 大久保憲作

木のショールーム「暮らしらぼ倉敷店」

代表電話番号: 086-465-3322

代表FAX番号: 086-465-3346

代表E-mailアドレス: info@kuramoku.com

ホームページアドレス: <http://www.kuramoku.com>

クラモク建築センター 電話番号: 086-465-7700

クラモク建築センター FAX番号: 086-465-7709

クラモク建築センター E-mailアドレス: kuramoku@kuramoku.com

創業: 明治40年(1907年)

法人設立: 昭和22年9月5日 (1947年)

資本金: 3,000万円

従業員数: 70名(正社員56名・パート等14名)

※2012年5月1日現在

建設業許可: 岡山県知事許可(特-21)第3865号

一級建築士事務所: 岡山県知事登録第1986号

宅地建物取引業: 岡山県知事(12)第1392号

事業規模: 70期(2010年度)売上 27億5,500万円



木材の普及のため、一枚板を展示



## 《 対象範囲 》

審査対象事業所: 「倉敷木材株式会社本社及び関連事業所(岡山ショールーム)」

※第71期中(2012年3月24日)に「寿町ショールーム」がオープンしたため、2012年7月26日より  
関連事業所として「寿町ショールーム」を認証・登録の範囲に加える予定

エコアクション認証・登録の対象活動範囲: 「木材・建材の販売、住宅建築、家具の製作・販売」

### ③ 環境経営理念 / 環境活動方針 / トップメッセージ

#### 《 環境経営理念 》

倉敷木材株式会社は、創業以来一世紀にわたって積み重ねてきた知識と経験を元に、再生可能な資源としての木と共にある暮らしを提案することを通して、持続可能な社会作りに貢献します。

#### 《 環境行動方針 》

1. 私達は、以下の環境方針に則り事業活動を行います。
  - 1) 環境負荷の少ない住宅資材販売及び住宅建築を推進します
  - 2) 事業活動に伴う使用エネルギー及び廃棄物の削減に努めます
  - 3) 環境保全のために森林や木材が果たしている役割について、地域にお知らせします
2. 私達は、環境関連の法律、規制、協定等を遵守するとともに、業務手順を整備して適正な処理を行います。
3. 私達は、環境活動レポートの公表及び地域の苦情・要望への対応によって、環境コミュニケーションの推進を図ります。
4. 私達は、全従業員を挙げて環境マネジメントシステムを推進し、継続的な環境改善に努めます。

策定：2008年7月25日

改訂：2010年9月14日

#### 《 トップメッセージ 》

古来より森を守り、木を育て、木の家で木と共に暮らしてきた日本人。まさに日本の文化は木を大切にす文化だとも言えます。森の中で突然出会った大木に思わず手を合わせる。ふるさとの鎮守の杜でほっと心が休まるひと時を持つ。杉の障子に朝日が差し、部屋の中だけでなく心までもが温かい気持ちになったこと、ありますよね。ほんとうに、木の力とは自然の力。そして私たちの生活とはその自然の力をいただくことだと思います。

クラモクは明治40年の創業以来、このように私たちの生活とは切っても切れない関係にある「木」を扱ってきました。適切に管理された森林から得られる木材を利用すれば、時間を経て森林は再生し、次の世代も再び森から恵みを利用できるのです。再生可能な資源である木を扱うことを職としていること自体、私たちには大変有難いことであると感じています。

そして2008年、創業101周年の迎えたのを機会に、クラモクは新たな一步を踏み出すべく全社で「エコアクション21」の認証取得を目指して活動を始め、2009年7月31日に認証を取得しました。

エコアクション21の活動を通し、自社の業務に伴う環境負荷を低減させることはもちろん、クラモクがこれまで一世紀にわたって積み重ねてきた知識と経験を元に、木に関わる様々な事柄を皆様にお伝えし、ご提案することで、それぞれの木が持つ温もりや個性を感じてもらいたいと思います。そして一人でも多くの方に適切に木を利用いただくことで、結果として地球の森を荒廃から守り、地球温暖化防止の役に立ちたいと考えています。

代表取締役社長  
大又保憲作

## ④ 環境目標及び実績(事業所/建設現場)

### 《 70期までの実績値及び71期以降の環境目標(事業所/建設現場) 》

項目 (単位)	準拠マニュアル	2004年版建設マニュアル		2011年版建設マニュアル			
		68期実績 (08年度)	69期実績 (09年度)	70期実績 (10年度)	71期目標 (11年度)	72期目標 (12年度)	73期目標 (13年度)
①自らが施工・販売・提供する製品及びサービス (長期優良住宅建築)	目標 (対前年比)	5	10 (200%)	14 (100%)	18 (100%)	18 (100%)	148 (100%)
	実績 (対目標値比)	14 (280%)	14 (140%)	18 (128.6%)	-	-	-
②温室効果ガス排出量 (kg) ※使用排出係数 0.555 (中国電力)	目標 (対前年比)	313,024	370,009 (118.2%)	346,873 (100%)	358,059 (100%)	358,059 (100%)	358,059 (100%)
	実績 (対目標値比)	370,009 (118.2%)	346,873 (93.7%)	358,059 (103.2%)	-	-	-
③電力使用量 (kWh)	目標 (対前年比)	360,876	352,984 (97.8%)	292,571 (100%)	283,538 (100%)	283,538 (100%)	283,538 (100%)
	実績 (対目標値比)	352,984 (97.8%)	292,571 (82.9%)	283,538 (96.9%)	-	-	-
④ガソリン使用量 (L)	目標 (対前年比)	25,012	27,019 (100%)	28,574 (100%)	32,286 (100%)	32,286 (100%)	32,286 (100%)
	実績 (対目標値比)	27,019 (107.6%)	28,574 (106%)	32,286 (113%)	-	-	-
⑤軽油使用量 (L)	目標 (対前年比)	43,533	41,198 (100%)	43,687 (100%)	47,247 (100%)	47,247 (100%)	47,247 (100%)
	実績 (対目標値比)	41,198 (94.6%)	43,687 (106%)	47,247 (108%)	-	-	-
⑥総排水量 (m <sup>3</sup> )	目標 (対前年比)	861	916 (100%)	836.5 (100%)	912 (100%)	912 (100%)	912 (100%)
	実績 (対目標値比)	916 (106.4%)	836.5 (91.3%)	912 (109%)	-	-	-
⑦廃棄物排出量 (t)	目標 (対前年比)	687.84	679.88 (100%)	マニュアル変更	903.43 (100%)	903.43 (100%)	903.43 (100%)
	実績 (対目標値比)	679.88 (98.8%)	549.78 (80.9%)	903.43 (-)	-	-	-
⑧化学物質使用量 (kg/1現場)	目標 (対前年比)	目標設定無し	目標設定無し	目標設定無し	0.47 (100%)	0.47 (100%)	0.47 (100%)
	実績 (対目標値比)	目標設定無し	目標設定無し	0.47 (-)	-	-	-
⑨「暮らしと木のフェア」開催 (回数/人数)	目標 (対前年比)	2/4,000	2/4,000 (100%)	2/4,000 (100%)	2/4,000 (100%)	2/4,000 (100%)	2/4,000 (100%)
	実績 (対目標値比)	2/4,000 (100%)	2/4,500 (113%)	2/4,000 (100%)	-	-	-
⑩「岡山の森を訪ねる会」 開催 (回数/人数)	目標 (対前年比)	1/28	1/28 (100%)	1/28 (100%)	1/28 (100%)	1/28 (100%)	1/28 (100%)
	実績 (対目標値比)	1/34 (121%)	1/36 (129%)	1/34 (121%)	-	-	-
⑪物品購入に占めるグリーン 購入の割合 (%)	目標 (対前年比)	目標設定無し	目標設定無し	目標設定無し	60 (-)	65 (108%)	70 (108%)
	実績 (対目標値比)	実績把握無し	実績把握無し	実績把握無し	-	-	-

※1 目標値については対前年比で、実績値については対目標値比でパーセンテージを表記

※2 上記71期～73期の目標値は、主に70期実績値を基準としているが、経営的な目標として毎年5%程度の売り上げ増を目標としているため、相対的な環境負荷は低下させる目標値となっている。

※3 ⑦の廃棄物排出量については一般廃棄物と産業廃棄物の合計値を用いる

※4 ⑧の化学物質使用量については、建設現場で使用するメレンビス(1現場あたりの量)を把握する

※5 ⑨については、フェア当日会場でアンケートを配布・回収し、人数を集計する

※6 ⑪のグリーン購入については、「グリーン購入法適合商品」と「グリーン購入法適合商品以外のエコ商品」の合計値を把握

※7 69期のデータまでは2004年版建設業向けマニュアル(試行版)に準拠、70期以降は建設業向けガイドライン2011年版(暫定版)に準拠

## ⑤ 70期 環境活動計画(事業所/建設現場)

## 《 70期環境活動計画(事業所/建設現場) 》

分類	取組項目・施内容		担当部署	担当者
自らが施工・販売・提供する製品及びサービス	国産材を使用した長期優良住宅の建築		住宅部	住宅営業
省エネルギー	電力使用量削減	節電表示の作成、確認	全部署	環境管理責任者
		エアコン設定温度の確認 (夏季目標28℃・冬期目標22℃)	全部署	EA21推進者
		昼間の不要照明の消灯、確認	全部署	EA21推進者
		不在事務所の消灯	全部署	EA21推進者
		残業低減策の実施	全部署	総務責任者
	ガソリン・軽油の使用量削減	効率的な配達の実施	営業支援課	配送担当者
	水道使用量削減	節水表示の作成、確認	全部署	環境管理責任者
廃棄物の削減	分別・適正処理状況確認		総務部	EA21推進者
	各種廃棄物のリサイクル化による有効利用率向上 (処理先の見直し、木材・ビニール類・紙類・段ボール等)		営業支援課・総務部	EA21推進者
地域への環境普及活動	暮らしと木のフェアの開催(2回/年)		全部署	フェアリーダー
	岡山の森を訪ねる会の開催(1回/年)		全部署	訪ねる会事務局
法令順守	廃棄物処理法	焼却炉灰の品質測定 (灰処分時に行う)	加工センター	焼却炉責任者
	ダイオキシン類対策特別処置法	焼却炉 排ガス・焼却灰・煤塵中ダイオキシンの測定	加工センター	焼却炉責任者
	浄化槽法	水質測定	総務部	総務責任者
	下水道法	申請書類の確認と提出	総務部	総務責任者
従業員教育	環境方針の確認(営業方針発表会時及び朝礼ごとに行う)及び新入社員教育		全部署	環境管理責任者

## ⑥ 70期 環境目標の評価及び今後の方針(事業所/建設現場)

### 《 70期の環境目標の評価および今後の方針(事業所/建設現場) 》

- ①長期優良住宅については、目標14棟に対して18棟を受注し、国産材の利用促進に貢献できた。
- ②CO2排出量については、対目標値比103.2%となり、排出量が増加した。
- ③電力使用量については、対目標値比96.9%となり、使用量削減を達成できた。
- ④ガソリン使用量および⑤軽油使用量については、それぞれ対目標値比113%・108%となり目標を達成できなかった。
- ⑥水道使用量については、対目標値比109%となり、使用量が増加した。
- ⑦廃棄物排出量については、903.43tであった。マニュアルが改訂されたため、今後この数字を基準として目標設定を行い、削減に努める。
- ⑧化学物質使用量については新規に把握を行い、1現場あたり0.47kgであった。今後この数字を基準として目標設定を行い、削減に努める。
- ⑧「暮らしと木のフェア」については、予定通り2回開催でき、参加人数もほぼ目標と同数であった。
- ⑨「岡山の森を訪ねる会」については、予定通り1回開催でき、参加人数も目標を上回った。

以上の通り目標値の達成と未達成が混在する結果となった。原因として、70期は全社の売上げが昨年比で約18%増加したことが考えられる。今後も環境負荷の増加を売上げの増加率以下に抑えることを目指し、同様の取組を継続する。

### 《 建設現場の整備状況(毎期の継続事項) 》



全現場に環境方針を掲示



土留めをして周辺に配慮

## ⑦ 70期 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

### 《 70期 環境活動計画の取組結果とその評価(事業所および建設現場) 》

取組項目・実施内容		取組結果とその評価
国産材を使用した長期優良住宅の建築		18棟受注し、達成出来た
電力使用量削減	節電表示の作成、確認	実行し、不要な照明の切り忘れはほぼ無い状態を維持している
	エアコン設定温度の確認 (夏季目標28℃・冬期目標22℃)	実行し、使用電力量は減少傾向にあるが、設定温度を守るために更なる呼びかけを行う
	昼間の不要照明の消灯、確認	実行し、使用電力量は減少傾向にある
	不在事務所の消灯	実行し、使用電力量は減少傾向にある
	残業低減策の実施	実行し、一部部署で土曜日と「8」の付く日の残業削減が出来た
ガソリン・軽油の使用量削減	効率的な配達の実施	実行しているが、ガソリン・軽油使用量が増加した
水道使用量削減	節水表示の作成、確認	実行しているが、水道使用量が増加した
分別・適正処理状況確認		実行し、問題は無かった
各種廃棄物のリサイクル化による有効利用率向上 (処理先の見直し、木材・ビニール類・紙類・段ボール等)		今後とも継続して廃棄物発生抑制に努める
グリーン購入		グリーン購入については、71期(2011年8月～)より数値の把握を開始している
暮らしと木のフェアの開催(2回で4000人動員/年)		予定通り実行でき、参加人数は目標とほぼ同数であった
岡山の森を訪ねる会の開催(1回で28人動員/年)		予定通り実行でき、参加人数も目標を上回った
廃棄物処理法	焼却炉灰の品質測定 (灰処分時に行う)	期間中灰処分は行わなかった
	ダイオキシン類対策特別処置法	焼却炉の排ガス測定および焼却灰の測定※
浄化槽法	水質測定	実行し、全て適正であった
下水道法	書類の提出	期間中、下水道への接続は無かった
環境方針の確認(営業方針発表会時及び朝礼ごとに行う)及び新入社員教育		予定通り実行出来た

### 《 次年度の主な取組内容 》

- ・国産材を利用した長期優良住宅については受注が好調であるため、引き続き当社における本業を通じた環境貢献の代表例として中心的に取り組む。
- ・エアコンの設定温度については、従業員の協力で概ね設定温度は守られた。  
但し、従業員によっては設定温度を無視する場合もあったため、個別に環境活動の趣旨を説明し、協力を依頼する。
- ・グリーン購入について、71期より新たに数値の把握を行うこととする。



## ⑧ (参考) 71期 環境活動計画(事業所/建設現場)

## 《 (参考) 71期 環境活動計画(事業所/建設現場) 》

分類	取組項目・施内容		担当部署	担当者
自らが施工・販売・提供する製品及びサービス	国産材を使用した長期優良住宅の建築		住宅部	住宅営業
省エネルギー	電力使用量削減	節電表示の作成、確認	全部署	環境管理責任者
		エアコン設定温度の確認 (夏季目標28℃・冬期目標22℃)	全部署	EA21推進者
		昼間の不要照明の消灯、確認	全部署	EA21推進者
		不在事務所の消灯	全部署	EA21推進者
		残業低減策の実施	全部署	総務責任者
	ガソリン・軽油の使用量削減	効率的な配達の実施	営業支援課	配送担当者
廃棄物の削減	水道使用量削減	節水表示の作成、確認	全部署	環境管理責任者
	分別・適正処理状況確認		総務部	EA21推進者
グリーン購入※	各種廃棄物のリサイクル化による有効利用率向上 (処理先の見直し、木材・ビニール類・紙類・段ボール等)		営業支援課・総務部	EA21推進者
	グリーン購入適合商品の購入		総務部	総務責任者
地域への環境普及活動	暮らしと木のフェアの開催 (2回/年)		全部署	フェアリーダー
	岡山の森を訪ねる会の開催 (1回/年)		全部署	訪ねる会事務局
法令順守	廃棄物処理法	焼却炉灰の品質測定 (灰処分時に行う)	加工センター	焼却炉責任者
	ダイオキシン類対策特別処置法	焼却炉 排ガス・焼却灰・煤塵中 ダイオキシンの測定	加工センター	焼却炉責任者
	浄化槽法	水質測定	総務部	総務責任者
	下水道法	申請書類の確認と提出	総務部	総務責任者
従業員教育	環境方針の確認 (営業方針発表会時及び朝礼ごとに行う) 及び 新入社員教育		全部署	環境管理責任者

※71期より「グリーン購入」の項目を追加

⑨ 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

《 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 》

法律	チェック内容			担当者	チェック結果 (期間：2010年8月～2011年7月)											
	項目	法定基準値	時期		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	マニフェスト	—	交付の都度	総務部 EA21推進者	不適※1	不適	不適	不適	不適	不適	不適	不適	不適	適正	適正	適正
	焼却灰中の水銀	0.005 mg/l未満	灰処分時	焼却炉責任者										※2		
	焼却灰中のカドミウム	0.3 mg/l未満	灰処分時	焼却炉責任者										※2		
	焼却灰中の鉛	0.3 mg/l未満	灰処分時	焼却炉責任者										※2		
	焼却灰中の六価クロム	1.5 mg/l未満	灰処分時	焼却炉責任者										※2		
	焼却灰中の砒素	0.3 mg/l未満	灰処分時	焼却炉責任者										※2		
	焼却灰中のセレン	0.3 mg/l未満	灰処分時	焼却炉責任者										※2		
ダイオキシン類対策特別措置法	排ガス中ダイオキシン類の値	10 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N未満	1月	焼却炉責任者										適正		
	ばいじん中ダイオキシン類の値	3 ng-TEQ/g未満	1月	焼却炉責任者										適正		
浄化槽法	水質検査	透明度7度以上	7月	総務課長	適正											
下水道法	書類の確認と提出	—	接続時	総務課長	※3											

評価の結果

- ※1 マニフェストおよび契約書について、2011年4月まで不備があった→2011年5月の更新審査で指摘を受け、是正措置を行った(是正措置の内容はKM-R08参照)
- ※2 70期は灰の処分を行わなかったため、測定値無し
- ※3 今期下水道への接続は無かった

《 環境関連法規への違反、訴訟等の有無 》

倉敷木材株式会社の事業活動において、現在の所法規制に対する違反や訴訟はありません。

## ⑩ 代表者による全体評価と見直しの結果

### 《 代表者による全体評価と見直しの結果 》

定期見直し(事業年度終了後)

臨時見直し(EA21審査受審前)

実施日:2012年5月1日

見直しに必要な情報	代表者による見直し
環境管理責任者の報告及び改善への提案	指示事項
70期の環境目標の評価及び今後の方針 →当レポートP.7参照	<ul style="list-style-type: none"> <li>・70期は全社売上げが増加したため、一部環境負荷が増加したのは致し方ない面もあるが、引き続き環境目標の数値達成を意識しながら仕事に取り組むこと。なお、今期は昨期並みの売上げ予測である。</li> <li>・マニュアルが2011年版に移行しているため、環境負荷の把握をマニュアルに沿うように注意すること。</li> </ul>
70期の環境活動計画の取組結果とその評価 →当レポートP.8参照	<ul style="list-style-type: none"> <li>・概ね環境活動計画は予定通り遂行されているが、今後は環境管理責任者からの指示にとどまらず従業員の自主的な取り組みにつながるような雰囲気の醸成が求められる。</li> </ul>
次年度の主な取組内容 →当レポートP.8参照	<ul style="list-style-type: none"> <li>・71期は新たにグリーン購入法に対応するため、仕入先の協力の元で適合商品の購入を意識すること。</li> <li>・72期中(2013年)の審査においては、2012年3月末にオープンした「寿町ショールーム」を審査対象に加えるよう、環境活動に組み込むとともに環境負荷の把握に努めること。</li> </ul>
その他改善への提案 →当初は2004年版の基本マニュアルを元にスタートした当社の環境活動も、その後の2004年版建設業マニュアルへの移行、更に2011年版建設業マニュアルへの改訂等もあり、エコアクションの取り組み項目が多くなっている。従って社内向けの業務手順書を整備する必要がある。	環境管理責任者が必要に応じて業務手順書を整備すること。
代表者自ら得た情報	指示事項
代表者が所属する(社)岡山経済同友会は、岡山県の「クールビズ県民運動」に賛同し、会員企業に積極的な取り組みを求めている。 取組内容 1. 事務所の冷房時の室温を28℃とする。 2. 家庭においても冷房時の室温を28℃とする。 3. 上記項目は、その日の天気や体調に合わせて無理のない範囲で行う。	左記項目は当社の環境活動計画と合致しているため、当社としても「クールビズ県民運動」沿った取り組みを行うこと。

⑪ 連絡先 / ⑫参考資料(活動紹介)

《 連絡先 》

環境管理責任者  
取締役 経営企画室長 大久保 陽平

事務局  
総務部 総務課長 長浜 英明

〒710-8581  
岡山県倉敷市中島1000番地1号  
電話番号：086-465-3322  
FAX番号：086-465-3346  
E-mailアドレス：info@kuramoku.com

《 参考資料(活動紹介) 》

「暮らしと木のフェア」開催の様子

毎年春と秋に開催している、岡山県下最大級の木のイベント。  
木材という自然素材の良さを参加者の方々にお伝えするとともに、端材利用の促進にも努めています。



端材を多数展示



一枚板や木の小物に触れて頂く



「マイ箸作りコーナー」も設置

「岡山の森を訪ねる旅」開催の様子

毎年夏に開催。岡山県北の新見市大佐山や新庄村を訪ね、地域の森林資源の有効活用大切さや、  
林業の実情について一般からの参加者とともに学んでいます。



原木市場で木材の勉強



2009年からは岡山県新庄村を訪問



広葉樹林を散策